

令和6年度 事業計画

A 令和6年度の重点課題

中期事業計画（2024～2028年度）に基づき、本年度は特に次のことに重点課題として取り組む

【学院】

- ・学生募集においては志願者の減少が各学科の定員割れを引き起こしており、エビデンスに基づいた原因の把握を基に、ホームページ（HP）の充実、学内イベントなどの広報戦略の見直しを実施。高校・大学訪問など広報担当者や教員が協働して行い、学生募集の継続的強化を図る
- ・教職員が互いに協働して国家試験の高い合格率の維持はもとより留年、休学、退学者の抑制を図る基盤として社医学メソッドの確立を図る
- ・小金井市をはじめとした地域との連携を重視し、地域貢献に努めるとともに学生と共に地域から学ぶ学習の場とする
- ・学内や実習の場におけるハラスメントの防止はもとより、日常の様々な場面においてコンプライアンスの重視に努める
- ・入学時基礎力テストを導入することで「成長する基礎力」育成に資する教育内容検討資料とする。

【理学療法学科・作業療法学科】

- ・次回のカリキュラム改訂に向けて、より質の高い、また学院の特徴を出した教育活動の展開につながるよう見直しを図る。
- ・診療参加型臨床実習の運用拡大に向けて、実習指導者養成のための臨床実習指導者講習会を開催し、また、本校の臨床実習教育の内容を臨床実習指導者会議や巡回訪問時に説明し、実習施設との連携を図る。
- ・国家試験合格率の向上に向け、現状分析を徹底し、全学年を通じた対策を講じる。特に学習の基礎から積み上げていく方法を低学年から一貫性を持って取り組む。
- ・学生の心身面の問題に対して担任、学科、心理カウンセラー、必要に応じて関係機関との連携を取り対応する。
- ・留年率・退学率を減少させるための方策を検討しシステムの構築を図る。
- ・業務の効率化を進め、教員のヘルスケアにつなげる。
- ・昼間の就労体験を授業に反映させるなど、夜間部の特色を活かした教育内容を再検討する
(両学科夜間部)
- ・令和7年度作業療法学科昼間部開設に向けて、応募者拡大のため広報活動と新しい入試のスタイルを展開し、より多くの志望者が学院に足を運んでもらえるよう、作業療法学科昼間部開設準備室、渉外担当、広報担当と協働して広くアピールしていく
- ・夜間部閉講により在學生に不利益が及ばないよう、実習を含む学事の運営を計画的に進める
(作業療法学科)

【事務局】

- ・スタッフ・デベロップメント (SD) の一環として、事務職員の計画的な研修を企画する
- ・学生ロッカーの入れ替えなど、学生の利用環境向上を図る
- ・年次計画を基に現行の授業に不可欠な教材や視聴覚設備の更新を行い、受講環境向上を図る
- ・講義教室の環境を整備する
- ・業務の効率化と職員間の連携を進める

B 学校事業実施予定

【学校全体】

月	項 目
4	入学式 ガイダンス 夜間部臨床実習指導者会議
5	開校記念日 1年三科合同行事 学生健康診断 自治会総会
6	体育祭 生理学実習
7	昼間部臨床実習指導者会議
8	就職説明会
9	成績会議
10	
11	文化祭
12	避難訓練 仕事納め
1	仕事始め 卒業決定会議
2	国家試験 成績会議 (進級会議)
3	卒業式

C 職員人事

1 令和6年度教職員名簿

◇学 院 長（1名） 浅沼辰志					
◇副 学 院 長（1名） 帯刀隆之 （兼任教員理学療法学科）					
◇キャリア支援室長（1名） 小島 肇（兼任教員理学療法学科）					
◇渉外担当係長 長屋 説（兼任教員理学療法学科）					
◇事 務 所 法人事務局長 深井 牧子 学院事務長 深井 牧子 事務職員10名／非常勤事務職員4名／学校業務支援員3名／校医1名					
庶務課長	古庄 昌彦	教務係長	青柳 圭祐	広報係長	谷部健太郎
事務職員	齊藤 美陽	事務職員	菅谷 英恵	事務職員	小池千絵美
事務職員	前田 啓志	事務職員	川越 光輔	事務職員	岡山 紗季
事務職員	セウエカリ啓子	非常勤事務職員	柴田 真実		
◇理学療法学科 専任教員合計16名					
学科長（1名） 小林 規彦 学科長補佐（2名） 小宮山一樹、中山 雅和					
<夜間部四年課程>					
教 員	沼尾 拓	教 員	福田 崇	教 員	山本 千夏
教 員	山形 哲行				
<昼間部三年課程>					
教 員	森田 浩章	教 員	藤川 明代	教 員	佐々木亮平
教 員	林 佑樹	教 員	坂田 晋一	教 員	中村 壮大
◇作業療法学科 専任教員合計6名					
学科長（1名） 河野 達哉 学科長補佐(1名) 兵頭 洋子					
<四年課程>					
教 員	福井健太郎	教 員	河野 崇	教 員	木下 輝
教 員	並木秀樹				

2 各種委員会担当者一覧

I. 常設委員会

委員会名	委員氏名
広報誌制作委員会	●深井、坂田、木下、川越
実習指導者研修委員会（主たる実習地担当）	●小宮山、沼尾、林、福井、菅谷 ①学院主催SV研修会 ②PT協会SV研修会 ③主たる実習地
ハラスメント対策委員会	●兵頭、坂田、中村、川越 外部窓口：Any-sign lab、 外部委員：中村伴子 委員
自己評価委員会（学校関係者評価委員会・第三者評価担当）	●佐々木、○浅沼、福井、柴田、岡山 ・R6年度の職業教育評価機構による第三者評価は上記委員及びPT・OT学科長、事務長、庶務課長、教務係長で対応 ・リハ教育評価機構によるPT学科の第三者評価はPT学科長、事務長、庶務課長、教務係長で対応
情報セキュリティ委員会	●福田、青柳、佐々木、河野崇
教務委員会（教育課程編成委員会担当）	●小宮山、小林、河野達、並木、岡山
教育備品・図書委員会	●古庄、兵頭、藤川、斎藤
FD・SD委員会	●小島、○青柳、中村、福井、
地域貢献委員会 ●山田	地域セミナー ●山田、○中山、長屋、森田、福田、河野崇、セウエカリ ・小金井市介護者支援講座対応 ・小金井さくら体操担当
	介護セミナー ●河野崇、○中山、山田、木下、前田（運営担当）、小池（広報担当）、外部委員：矢部（アビリティーズ）
応募者対応委員会 ●浅沼	イベント ●小島、○山形、兵頭、柴田、谷部、前田
	渉外 ○長屋、柴田、谷部
学生委員会	●山形、河野崇、並木、小池、小島（オブザーバー）
入試委員会	●小林、○帯刀、河野達、柴田、山本、菅谷、小池

II. 特設委員会

委員会名	委員氏名
研究助成金選考委員会	●山田、○小島、浅沼、帯刀、小林、河野達、深井
教学マネジメント構築委員会	●帯刀、浅沼、小島、小林、河野達、齊藤
学則委員会	●古庄、浅沼、帯刀、小林、河野達、山本、青柳
国家試験対策委員会	●沼尾、森田、林、木下、セウエカリ、帯刀（オブザーバー）
感染対策委員会（旧出口班）	●深井、○浅沼（感染状況とりまとめ）、帯刀、小林、河野達
作業療法学科昼間部設置準備室（令和6年度まで）	●浅沼、○柴田、河野達、深井

（注） ●印は委員長、○印は副委員長

D 学生在籍状況及び担任一覧

区 分	学年/期生	在籍数(見込み)	教室番号	担 任
理学療法学科夜間部	1年/52期	28	1番	山形
	2年/51期	24	7番	山本
	3年/50期	35	8番	福田
	4年/49期	30	4番	沼尾
	計	117		
理学療法学科昼間部	1年/42期	66	1番、2番	佐々木、中村
	2年/41期	66	4番、6番	藤川、坂田
	3年/40期	67	7番、8番	森田、林
	計	199		
作業療法学科夜間部	1年/45期	17	2番	河野崇
	2年/44期	26	3番	兵頭、並木
	3年/43期	22	6番	福井
	4年/42期	13	5番	木下
	計	78		
合 計		394		